

【完全保存版】

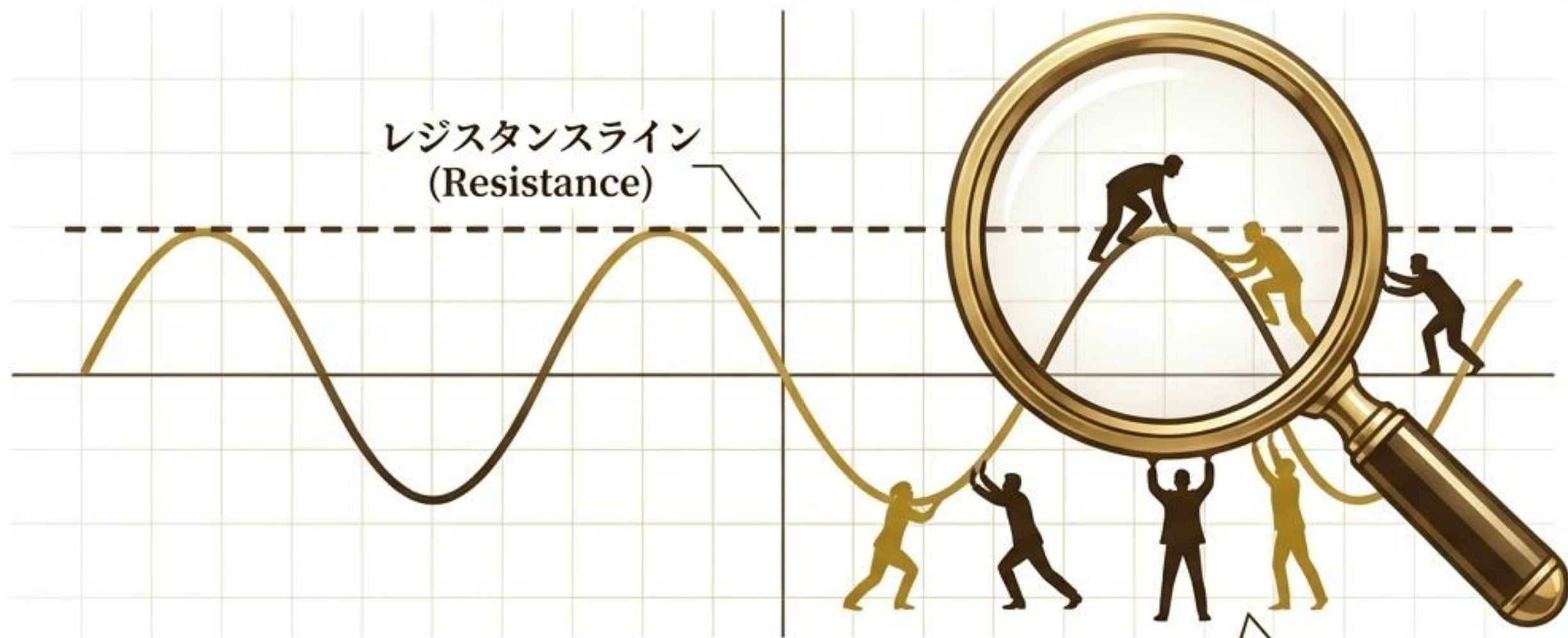
FXチャート パターン大辞典

相場の「型」を見抜く21の戦術的プレイブック

混沌とした値動きから、高勝率なエントリー
ポイントを導き出す視覚的アプローチ



チャートパターンは魔法ではない。大衆心理の「可視化」である。



値動きの軌跡には、市場参加者の恐怖、強欲、迷いが幾何学的な「型」として刻まれる。パターンを認識することは、次に相場がどちらへ動くかを予測する強力なエッジ（優位性）となる。

チャートパターン＝過去のデータに基づく確率論的アプローチ。直感ではなく、視覚的な根拠に基づいてトレードを行うためのフレームワーク。

相場を支配する2つの大分類：「継続」と「反転」

継続型パターン / Continuation

相場の状態 (Market Phase): トレンドの途中 (休憩)

投資家心理 (Psychology): 一時的な利益確定による停滞。力を蓄えた後、元の方角へ再発進する。

代表的な形状 (Typical Shapes): 三角形、四角形、旗 (フラッグ、ペナントなど)

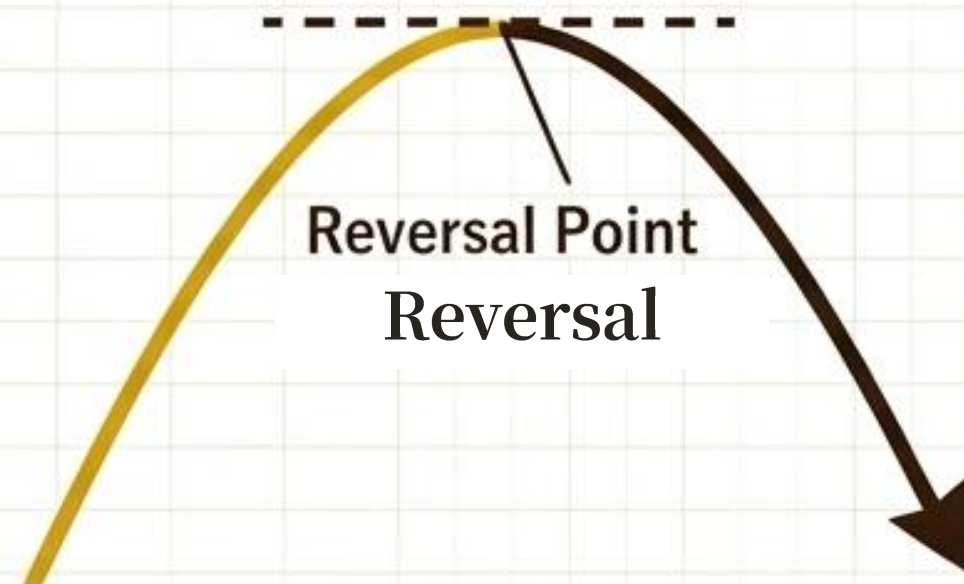


反転型パターン / Reversal

相場の状態 (Market Phase): トレンドの天井・大底 (転換)

投資家心理 (Psychology): 既存トレンドのエネルギー枯渇。攻防の末、トレンドが逆行を開始する。

代表的な形状 (Typical Shapes): 複数の山/谷、M字、W字 (ダブルトップ、ヘッド&ショルダーなど)



継続型 1：相場の「息継ぎ」を捉える（フラッグ / ペナント / レクタングル）

フラッグ (Flag)



上限と下限が平行に推移。旗の先端、またはラインブレイクがエントリーの合図。

ペナント (Pennant)



上限が下がり、下限が上がる三角旗。トレンド相場の中盤に出現しやすい。

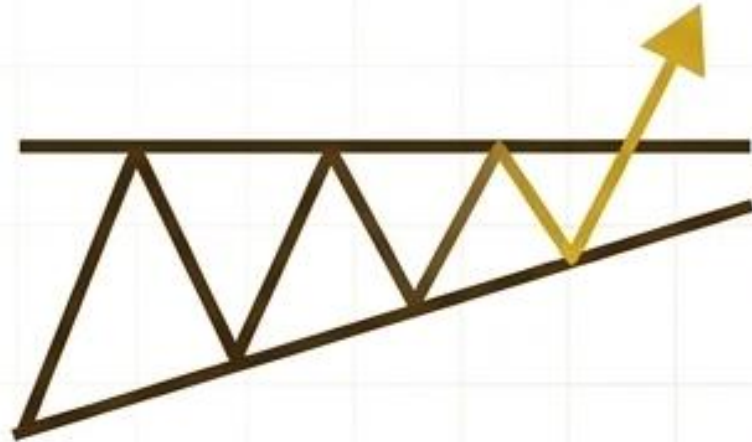
レクタングル (Rectangle)



一定の値幅でもみ合う長方形（レンジ相場）。ラインを抜けた方向へ追従する。

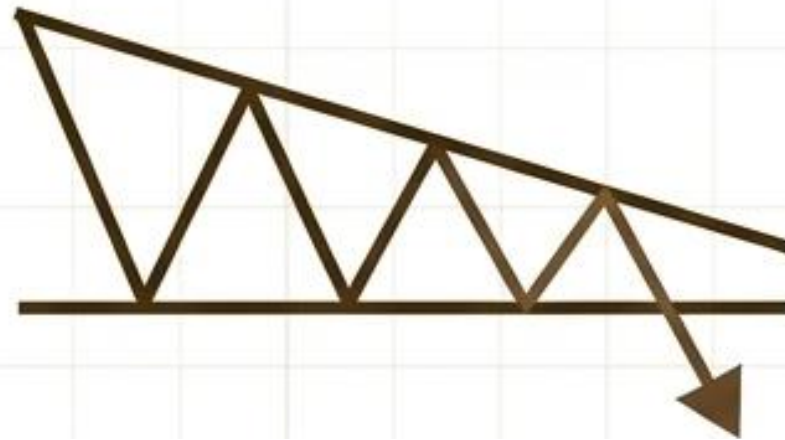
継続型 2：極限まで圧縮されたエネルギーの解放（トライアングル / ウェッジ）

アセンディング・トライアングル



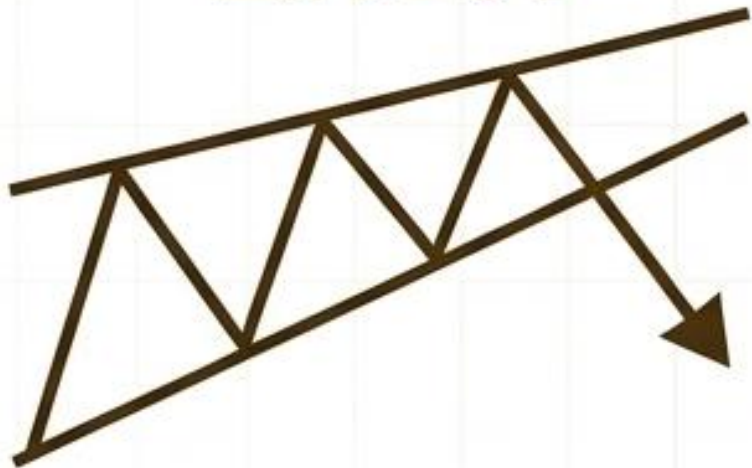
上値が一定で、下値が切り上がる。抵抗線をブレイクで強い上昇。

ディセンディング・トライアングル



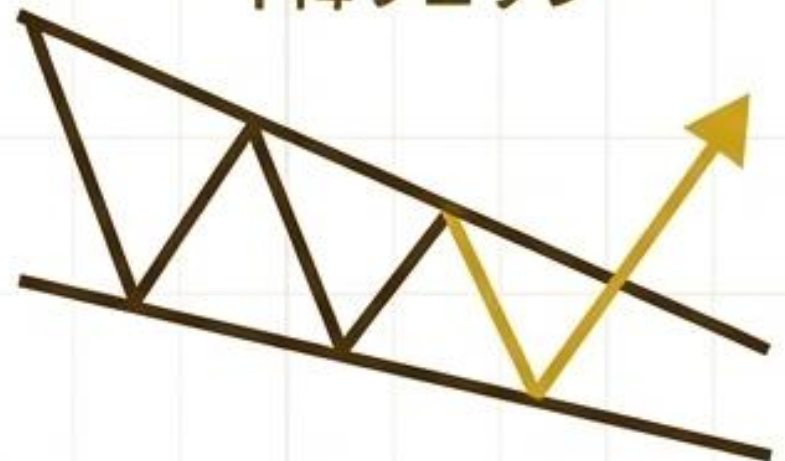
下値が一定で、上値が切り下がる。支持線をブレイクで強い下落。

上昇ウェッジ



トレンド途中で発生。両方のラインが右肩上がりで交差する。下のラインを割ると下落。

下降ウェッジ



トレンド途中で発生。両方のラインが右肩下がりで交差する。上のラインを抜けると上昇。

トライアングル（三角保合）：
上値抵抗線か下値支持線のどちらかが水平に保たれ、もう一方が切り詰まっていっていき。水平なラインを突き抜けた時が強烈なエントリーポイント。

ウェッジ（楔）：
両方のラインが同じ方向に向かいながら交差する。トレンド途中に出現し、ラインを割った方向へ価格が動く。

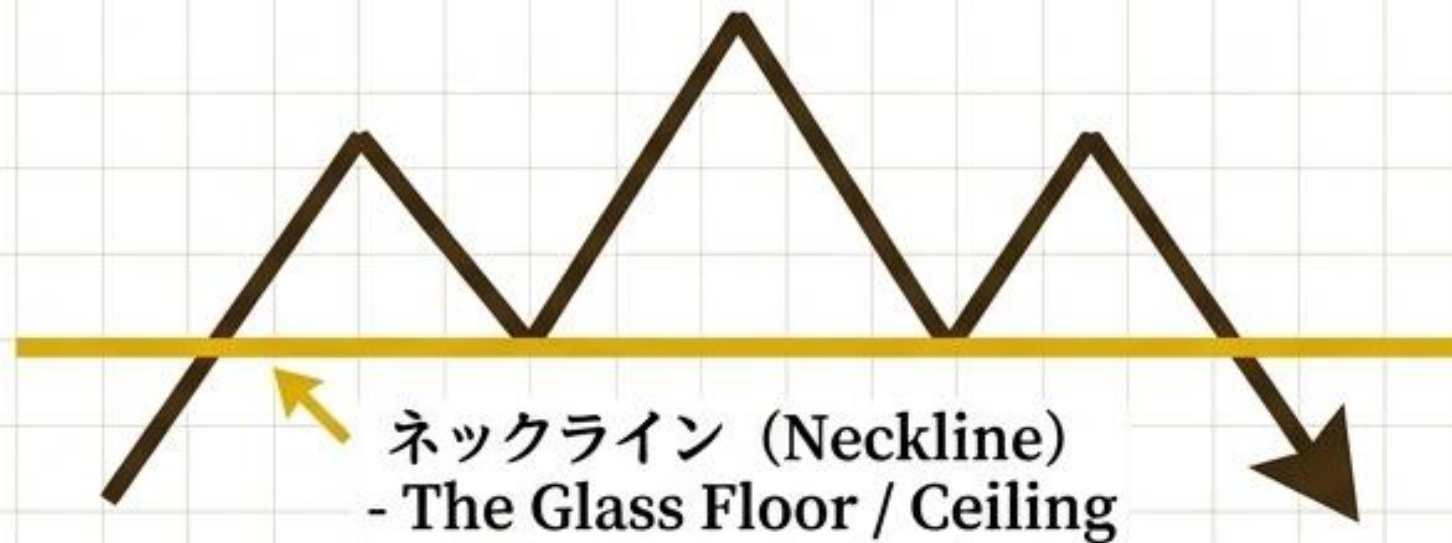
継続型3：大相場の前兆となる巨大な器（カップ&ハンドル）

強い上昇トレンドが発生する前兆。日足など長期足で形成されることが多い。



反転型 1：王道にして最強のトレンド転換（ヘッド&ショルダー / トリプル）

ヘッド&ショルダーズ・トップ（天井）



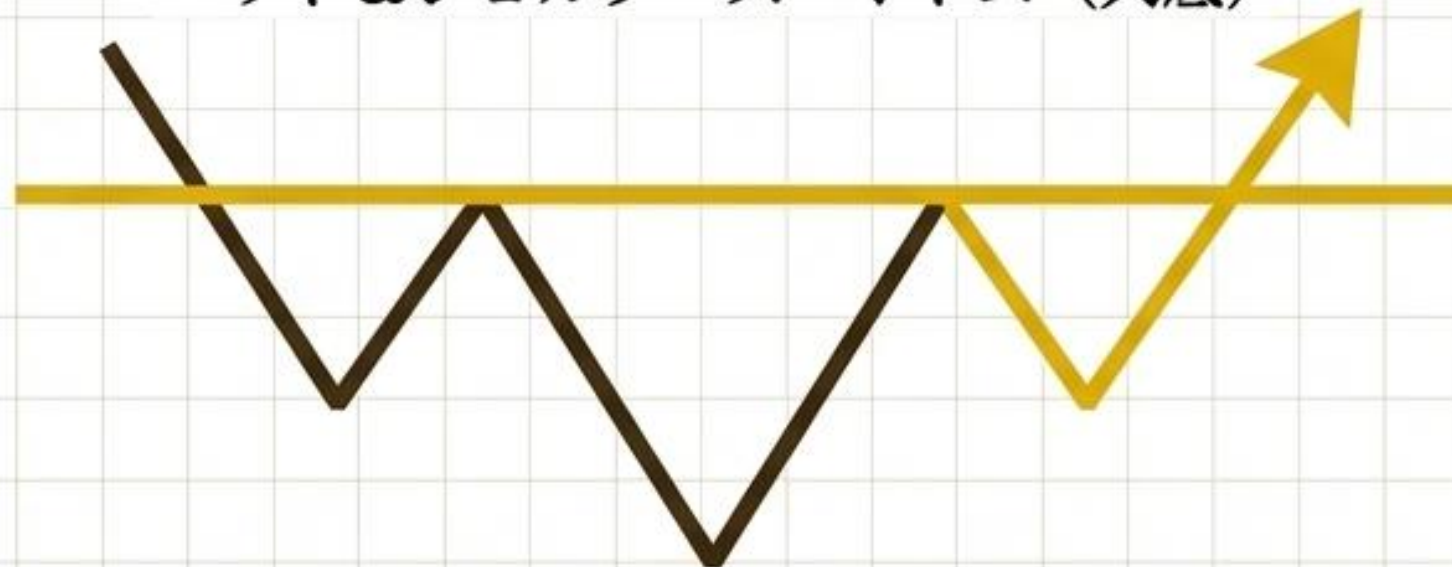
トレンドの最終局面（天井）に出現する最も信頼度の高い下落転換パターン。

【CRITICAL RULE】

「ネックライン」のブレイクアウトが絶対条件。パターンが形成されても、この防衛線を割るまではエントリーしてはならない。

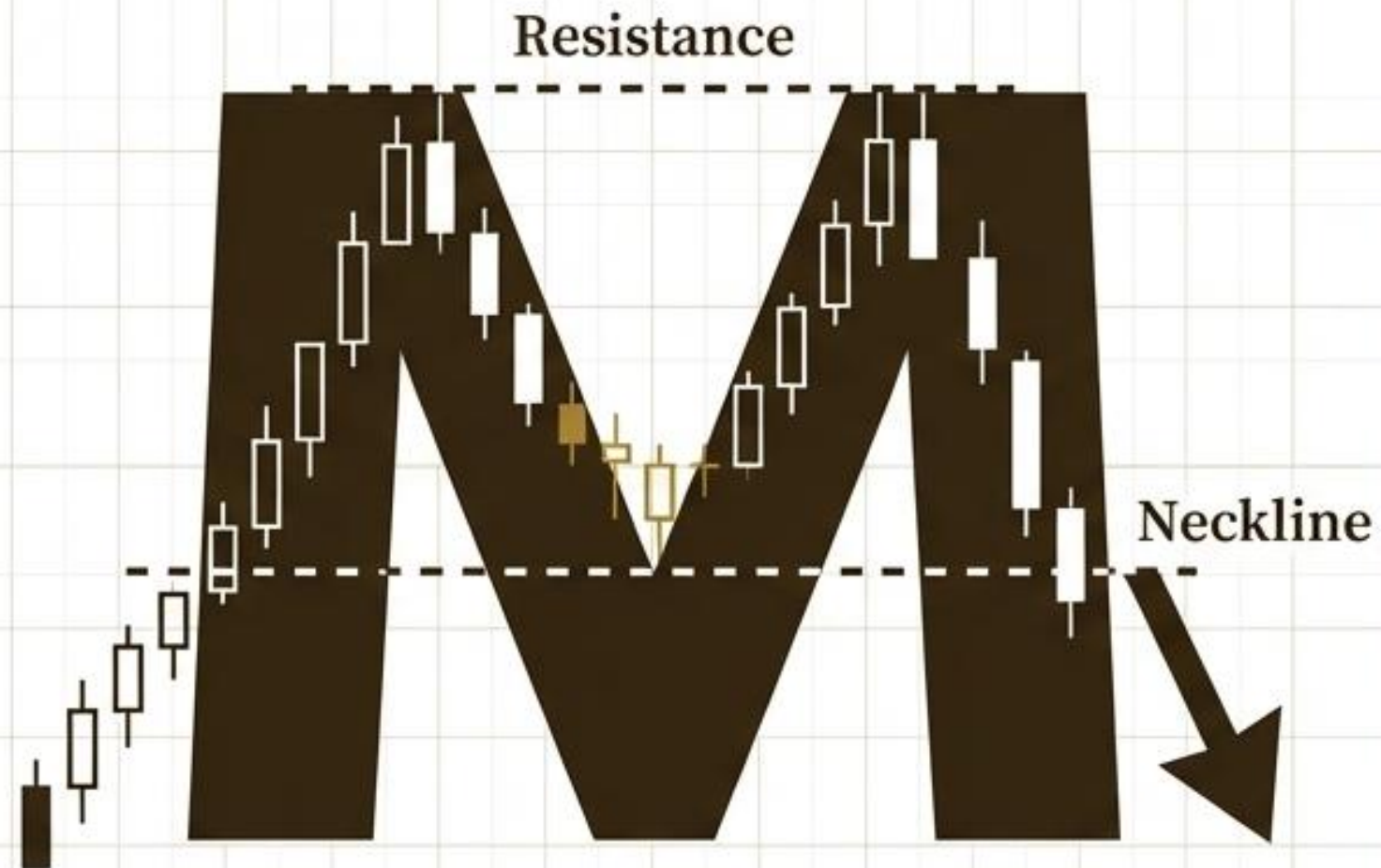
※3つの山/谷が同じ高さの場合はトリプルトップ/ボトムとなる。

ヘッド&ショルダーズ・ボトム（大底）

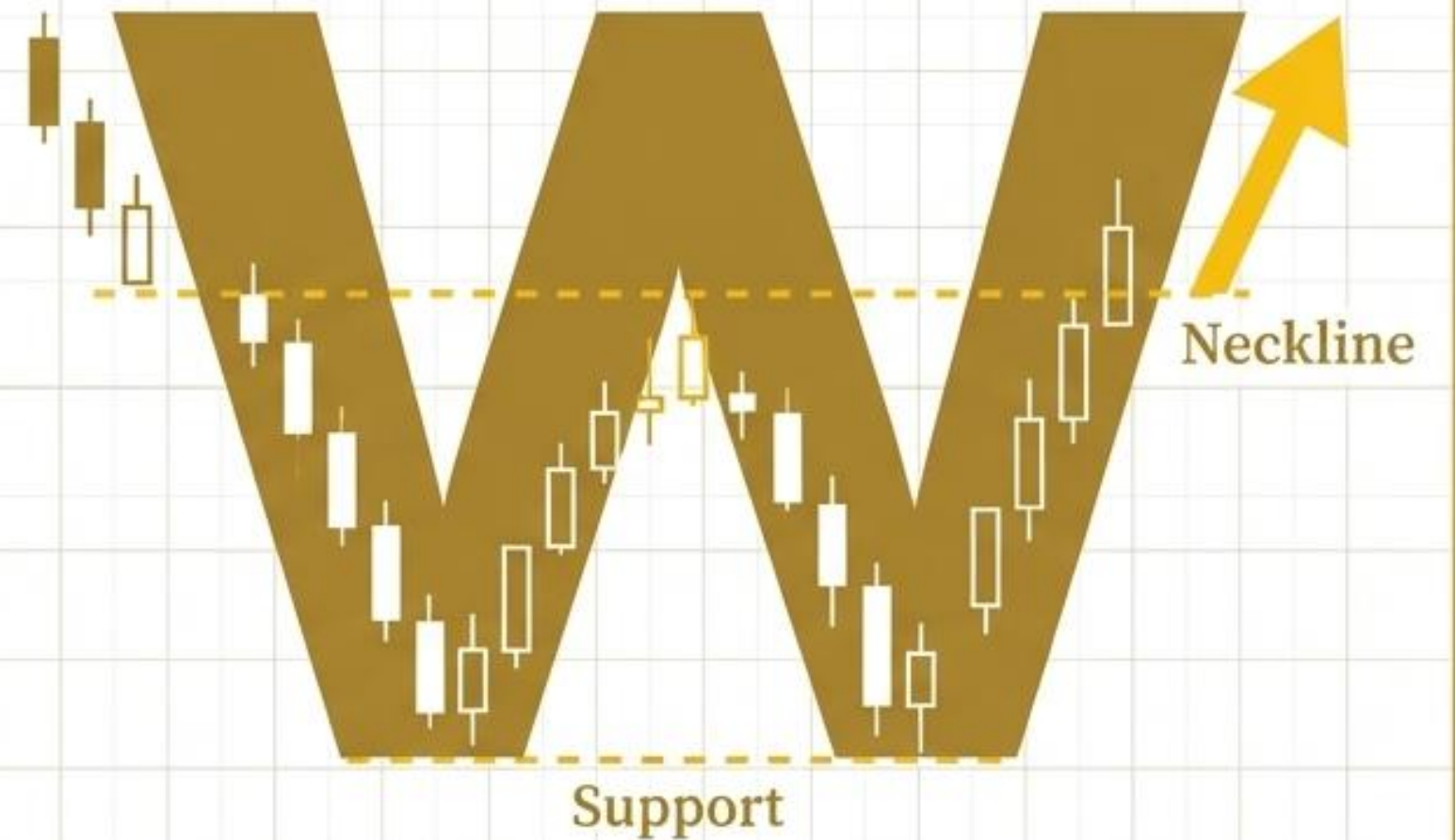


下降トレンドの最終局面（大底）に出現する強力な上昇転換パターン。

反転型 2：二度の拒絶がトレンドを終わらせる (ダブルトップ / ダブルボトム)



ダブルトップ (M字)：同じ高値水準で2度レジスタンスに跳ね返される。上昇トレンドの完全な終了サイン。ネックライン (Mの中央の谷) を下に割った時が売りのエントリー。



ダブルボトム (W字)：相場が大底をつき、下降トレンドから上昇へ転じるサイン。ネックライン (Wの中央の山) を上抜けた時が買いのエントリー。

反転型3：モメンタム移行の「速度」を測る（ソーサー vs スパイク）



ソーサートップ/ボトム（なべ底）

- ・高値圏・安値圏で緩やかな弧を描く。
- ・買い手と売り手の攻防が時間をかけてゆっくりと逆転していく安定したパターン。

スパイクトップ/ボトム（尖端天井/底）

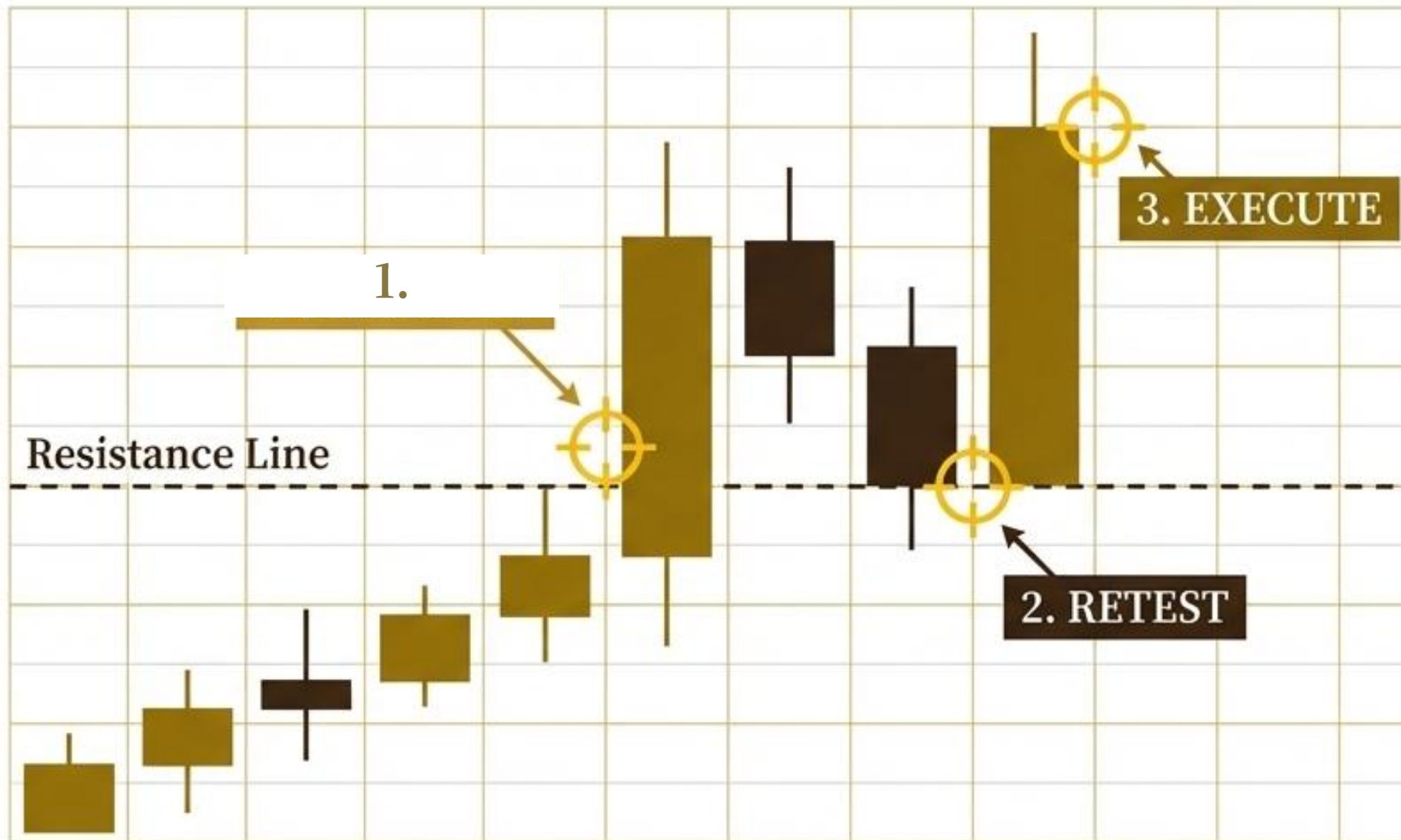
- ・短時間で急騰・急落し、鋭くV字反転する。
- ・主に経済指標の発表や要人発言、戦争などのショック時に発生。



【警告】 スパイクトップ/ボトムは変化が短時間に起こるため、初心者はパニック相場でのリスクテイクを避けるべき。

実践戦術1：完璧な「エントリーポイント」の解剖学

絶対原則：エントリーは「抵抗線（レジスタンス/サポート）を完全に抜けた後」に行う。



Terminal Execution Log

- 1. BREAKOUT**：パターンの完成とラインの突破を確認。
- 2. RETEST（推奨）**：価格が一度ラインに戻り、反発するのを確認（勝率が飛躍的に向上）。
- 3. EXECUTE**：トレンドの発生を確認してエントリー。

実践戦術 2：規律を生む「利食いと損切り」の鉄則

出口戦略のないトレードは感情に支配される。あらかじめ決めたルールを機械的に実行せよ
(逆指値の活用を推奨)



利食い (Take Profit) の目安：

- ・ 固定pips (例：10pips幅で自動利確)。
- ・ 反転チャートパターンの出現を確認した時点。

損切り (Stop Loss) の目安：

- ・ 許容できる損失額 (例：-10pips) に達した時点。
- ・ 【最重要】ブレイクしたはずの「ネックライン」を再び逆方向に割り込んだ時点 (= パターンの否定)。

現実の脅威：絶望の「だまし (Damaschi)」 トラップ

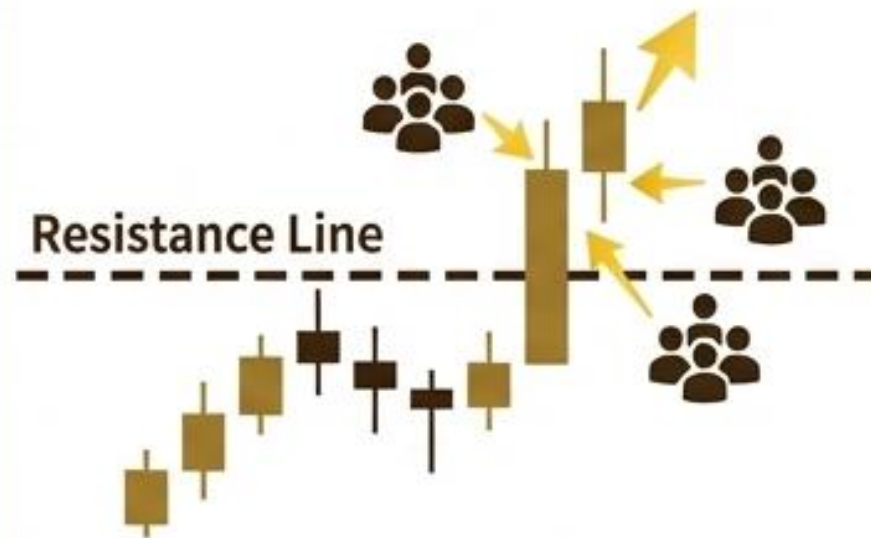
チャートパターンは絶対ではない。明確な形を形成しても、思い通りに動かない「だまし」が存在する。

1. 偽のブレイク (THE FAKEOUT)



レジスタンスを上抜け、パターンの完成を偽装。

2. 追従買い (FOMO TRAP)



焦った個人トレーダーが飛び乗り
で買いエントリー。

3. 暴落 (THE CRUSH)



大口の売りが入り、ブレイクを全
否定する急落。

だましの3大要因 (PRIMARY CAUSES)

経済指標の発表：サプライズ結果による強引なト
レンド逆行。

地政学リスク：突発的なニュースによるパニッ
ク。

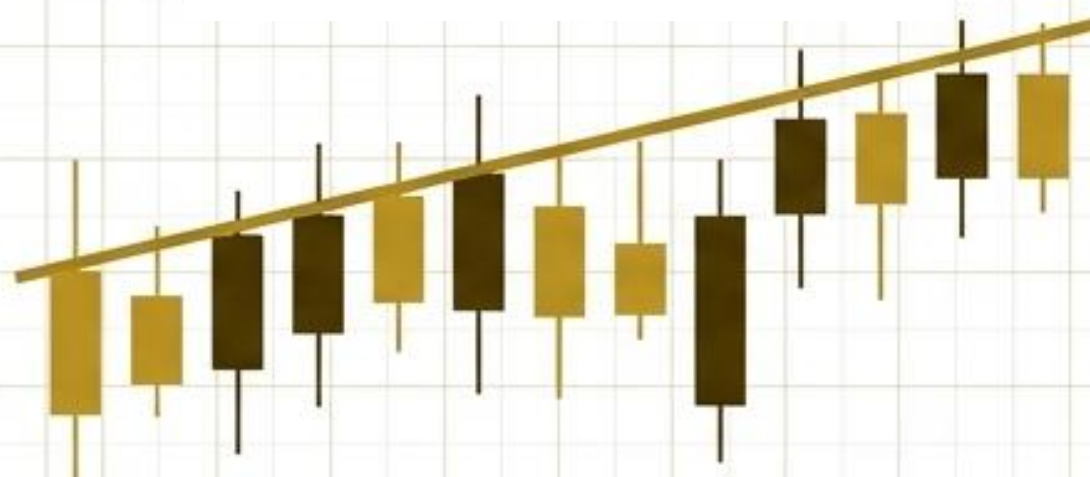
大口の資金投入：機関投資家が個人の損切り（ス
トップロス）を狩るための意図的な価格操作。

職人技のジレンマ：ライン引きの「主観性」とファンダメンタルズ

ヒゲ（Wicks）基準のライン



実体（Bodies）基準のライン



正解のないライン：ヒゲの先端か、実体か。トレーダーによって引くラインが異なり、パターンが変わって見えることがある。試行錯誤し、自分の基準を持つことが必須。

テクニカル分析
(Technical) -
チャートパターン、
価格アクション

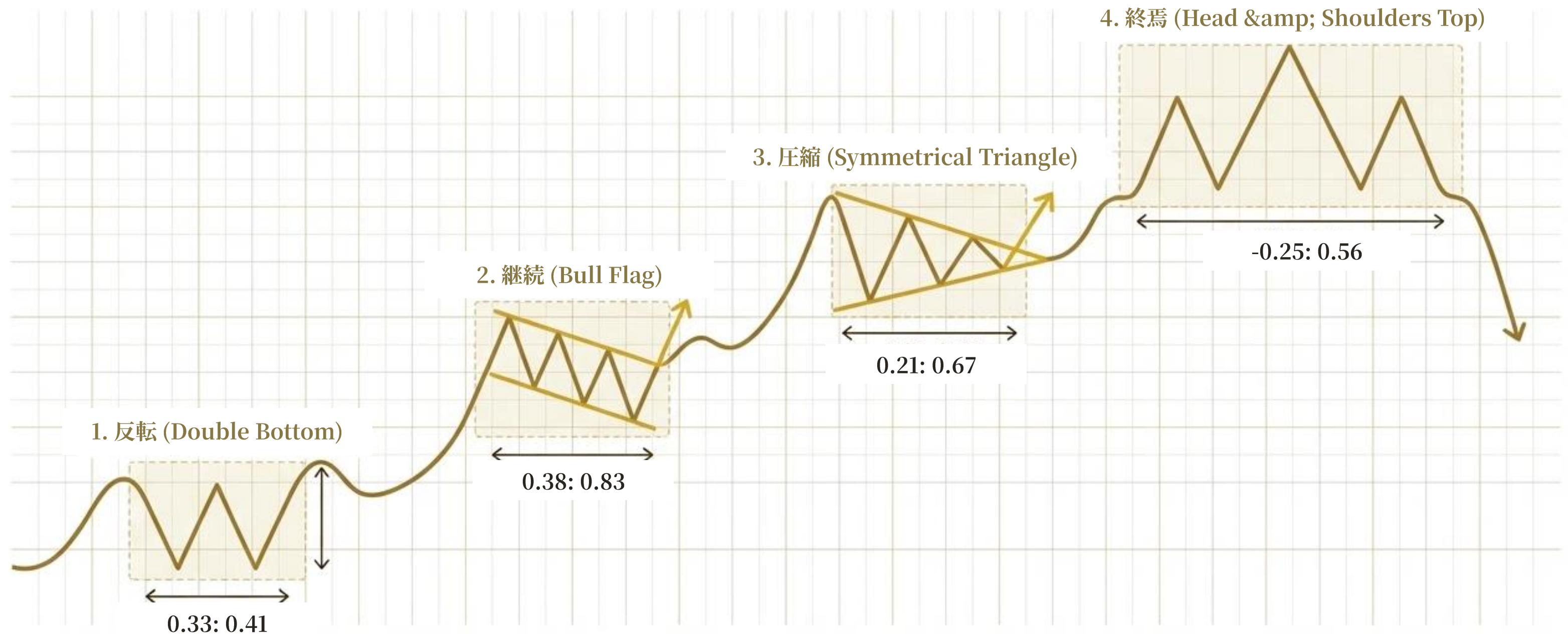


ファンダメンタルズ
(Fundamental) -
経済指標、要人発
言、ニュース

総合的判断
(Comprehensive
Judgment)

情報戦を制する：プロのトレーダーは、テクニカル分析だけで勝負しない。常にファンダメンタルズの文脈と組み合わせて相場を俯瞰する。

マスター・ブループリント：パターンの「連鎖」を読み解く



21のパターンは単独で存在するのではない。巨大なトレンドサイクルの中で、それぞれがバトンを渡すように連続して出現する。
柔軟性こそが最大のエッジ：一つのパターンを過信せず、複数のパターンを組み合わせインジケーターと併用することで予測の精度は劇的に向上。